

# コロナに負けないで

## 休業期間にがんばる！

### 七谷川野外活動センター 清水 浩次

七谷川野外活動センターは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、京都府や亀岡市の方針に従い、四月十一日からおよそ一カ月半、すべての施設の使用を休止していました。

この間を利用して、施設の改善・補修に努めました。中でも、普段は数多くのテントが張られてなかなか手のつけられない芝生広場をより美しくするために、雑草を取り除いた後、新しく購入した芝苗を一枚一枚貼り付ける作業を行いました。

面積的にも広く骨の折れる作業でしたが、腰や肩、腕に疲れを感じながら



も、職員同士励まし合ってがんばりました。

雨が上がった後には、上に被せた土の中から、緑色の芝の芽が現れたのを見て、うれしい気持ちになりました。同時に、世の中が何とも言えない暗く沈んだときにも、自然は私たち人間に力強くその生命力を見せてくれていることに心を動かされました。

また、再開後、デイキャンプに來られた利用者が青々とした芝生広場を見られるなり、「わあ、きれい！」と声を上げられ、私たちの苦勞も報われ幸せな気分になりました。これからも感染防止に努め、安全や安心の確保を第一に利用者の方々に喜んでいただけるようがんばっていきたくと考えています。

## コロナ終息を祈願



千歳町の神社では新型コロナウイルスの感染拡大防止のため例年行われている関連行事を中止して祭りを縮小し神事が実施されました。

出雲大神宮では四月十八日に鎮花祭が営まれ、コロナ終息を祈願されました。本殿では氏子代表二十名の参列で神事が肅々と行われ、拝殿では舞が奉納されました。

府無形民俗文化財の「出雲風流花踊り」などの関連行事は戦後初めての中止となりました。

また、国分区の愛宕神社でも四月二十四日、鎮火祭を縮小し、神事のみが行われました。今年は氏子総代、区長、自治会長など六人が参列し、火伏せの祝詞に続いてコロナの終息が祈願されました。恒例の消防関係者の参列や拝殿前の行事は行われませんでした。



## 今年も

### 桜はきれいに咲きました



出雲大神宮



七谷川英霊塔前

### 会長退任にあたってのお礼

廣瀬 義直

新型コロナウイルス感染防止の関係から、「ステイホーム」とか「ソーシャルディスタンス」「全国一斉休校やオンライン授業」等々新しい生活様式が呼び掛けられ戸惑いながらも皆が協力、実践して一ヶ月半、ようやく緊急事態宣言は解除されました。しかしながら、感染のリスクが無くなつたわけではなく、「新しい生活様式」はまだまだ続けなければならないようです。花火大会など亀岡市の恒例行事の中止決定がされ、自治会の恒例行事についても大きな変更を余儀なくされることも考えられます。

さて、私事で恐縮ですが、こうした大変な時に、任期満了による役員改選で七年間の自治会長職を退任することになりました。後をお引き受け頂く廣瀬照雄様にはスタートから難題を背負わせることとなり申し訳なく思いますが、新会長には、新役員さんは勿論、消防団や区長、農業委員等の活動を通して誰からも信頼されている方で有り、私の至らなかつた多くの課題を前へ進めて頂けるものと確信しています。今、思いますと私にとつての七年間は、本当に短い期間であつたように感じています。「住みやすいまち千歳」を合い言葉に、そのための基本となる住民相互のコミュニティづくりを宝船まつりや町民運動会、人権研修会や「高齢者元気づくり行事」を中心に楽しみながら取り組むことができました。これも皆様、年々の役員様、

そして事務局の皆様のお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。

一方で、「想定外」という言葉が度々使われ、甚大な被害をもたらした自然災害、千歳町においても崖崩れや土砂堆積、強風による倒木などの大きな被害を経験しました。その度に、地元の皆様を始め行政、議員さんの合力により何とか復旧でき、有り難いことでした。背後に山が迫り、その山の荒廃が進む千歳町にとつて、自然災害からの安全安心は今後の大きな課題となつていきます。

私は退任してからのこの二ヶ月、エンドレスの草刈りと我が家には広すぎる畑の管理作業に励んでいます。一町民として、自治会の行事には進んで参加させていたたくなど、できる限りの協力をしていきたいと考えています。今後とも宜しくお願いいたします。

### ようこそ千歳町へ

江島里区 清水 治好さん

はるよし

いつも大変お世話になっております、江島里区の清水治好と申します。

昨年五月に単身で、八月に家族含めて宇治市から引越してきました。宇治では家内の実家近所でマンション暮らしでした。とはいっても私が十五年ほど単身赴任をしていて宇治には季節毎に帰ってくるお客さんみたいな扱いの暮らしてました。仕事は開発から総務まで激務を三十六年務めた挙げ句、や体を壊しかけたのをきっかけに家族



と共に暮らすことを模索していました。そんなとき今の家の紹介を受け、素晴らしい環境と京都の中心から近いことそして何より希望していた「土いじりが出来る」という希望通りの出会いを得て移住を直感即決しました。

念願叶って家庭菜園を始めてみましたが、草地に耕運機をかければ刃が食い込んで引く張られコケそうになるはとうもろこしは試食して美味いと思つた翌朝にカラスに一つ残らずやられるは、ならばトマトの畝はカラスよけにネットを張り巡らせたら自分が入れなくなるはでドタバタの連続でした。地域の活動では宝船まつりの早食い大会で惜しくも二位だったり、運動会等では皆さんのアスリートぶりに驚愕したりと和の中に入れていただき大変楽し

く参加させていただきました。そんな皆さんにお世話になり、今年初めて種から育てた立派なたまねぎを収穫するまできました。コロナウイルスで活動が難しい昨今ですが地域の活動を大切に考えております。これからもよろしくお願ひします。

### 「誕生おめでとう」をいいます

ちとせっ子誕生祝金贈呈

第二十六号



平野 元太 (ひらの げんた) ちゃん  
令和二年三月五日生

毘沙門区  
平野進也さん・美緒さん 第一子